



Global IP Business Exchange 2011  
開催報告書

IPv6普及・高度化推進協議会  
Global IP Business Exchange 2011 運営事務局  
2011年2月



## 開催趣旨

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**X  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

わが国の輸出相手国は長らく米国が不動の首位でしたが、2009年、その座はついに中国にとって代われました。ネットビジネスも中国進出を加速しており、ASEAN、インド等のアジアにおける経済成長とインターネット普及は、密接に関わり合って急伸している状況です。

そして、これらを背景とした旺盛なIPv4アドレス需要は、その世界在庫を2011年夏に枯渇させようとしています。すでに、旧バージョンである IPv4技術だけに依存するリスクについて明確に意識した中国やインドでは、迅速にIPv6対応を進めようとしており、これまでの日本の経験を超えて成長して行きそうです。

一方、電子政府をはじめとする医療や防災といった公共サービス、環境エネルギー分野でのセンシング、スマートグリッド、ファシリティマネジメント等の様々なサービスが、インターネットを基盤としたクラウドによって提供される方向へと大きく動き始めました。

2011年はその他にも、NGNとISPとのIPv6接続開始、アナログ停波対策によるテレビのIP送信の本格化、スマートフォン等によるワイヤレスブロードバンドの急成長、等々のトピックが具体的に見えています。

今回の『Global IP Business Exchange』では、インターネット産業の新たな10年の初年にあたる事にあらためて注目し、成長を続ける新事業分野におけるIP技術の活用シーンを厳選して取り上げ、ビジネス知識として魅力的なレベルでセミナーを凝縮してお届けしました。

IPv6普及・高度化推進協議会  
Global IP Business Exchange 2011 運営事務局

# 開催概要

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011



名称	Global IP Business Exchange 2011 - IPv6とビジネスの広がりにフォーカスした専門イベント -
会期	2011年2月3日(木)
主催	IPv6普及・高度化推進協議会 
特別協力	IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース 
運営	IPv6普及・高度化推進協議会事務局(株式会社イーサイド内)
後援	総務省
会場	ベルサール神田
構成内容	基調講演(3)/特別講演(2)/パネルディスカッション(2)
来場参加費	事前カンファレンス申込: 無料 当日カンファレンス申込: 無料
プログラム登録者数	1,368名 ※(招待者含む)
来場者数	844名 ※(招待者含む)
公式Webサイト	<a href="http://ip-bizex.e-side.co.jp/">http://ip-bizex.e-side.co.jp/</a>

# 会場へのアクセス



**ベルサール神田**  
東京都千代田区神田美土代町7  
住友不動産神田ビル2・3階

- \* 「小川町」駅「B6出口」徒歩2分  
(新宿線)
- \* 「淡路町」駅「B6出口」徒歩2分  
(丸ノ内線)
- \* 「新御茶ノ水」駅「B6出口」徒歩2分  
(千代田線)
- \* 「神田」駅「4番出口」徒歩6分  
(JR線・銀座線)
- \* 「大手町」駅「C1出口」徒歩8分  
(半蔵門線・東西線・三田線・千代田線)

# 参加企業・団体

IP Global Business Opportunity



## プラチナスポンサー

NTTコミュニケーションズ株式会社  
<http://www.ntt.com/>



## メディアスポンサー

IT Leaders  
<http://it.impressbm.co.jp/>



WBB Forum  
<http://wbb.forum.impressrd.jp/>



株式会社IDGジャパン  
<http://www.idg.co.jp/>



## 特別協力

IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース  
<http://www.kokatsu.jp/>



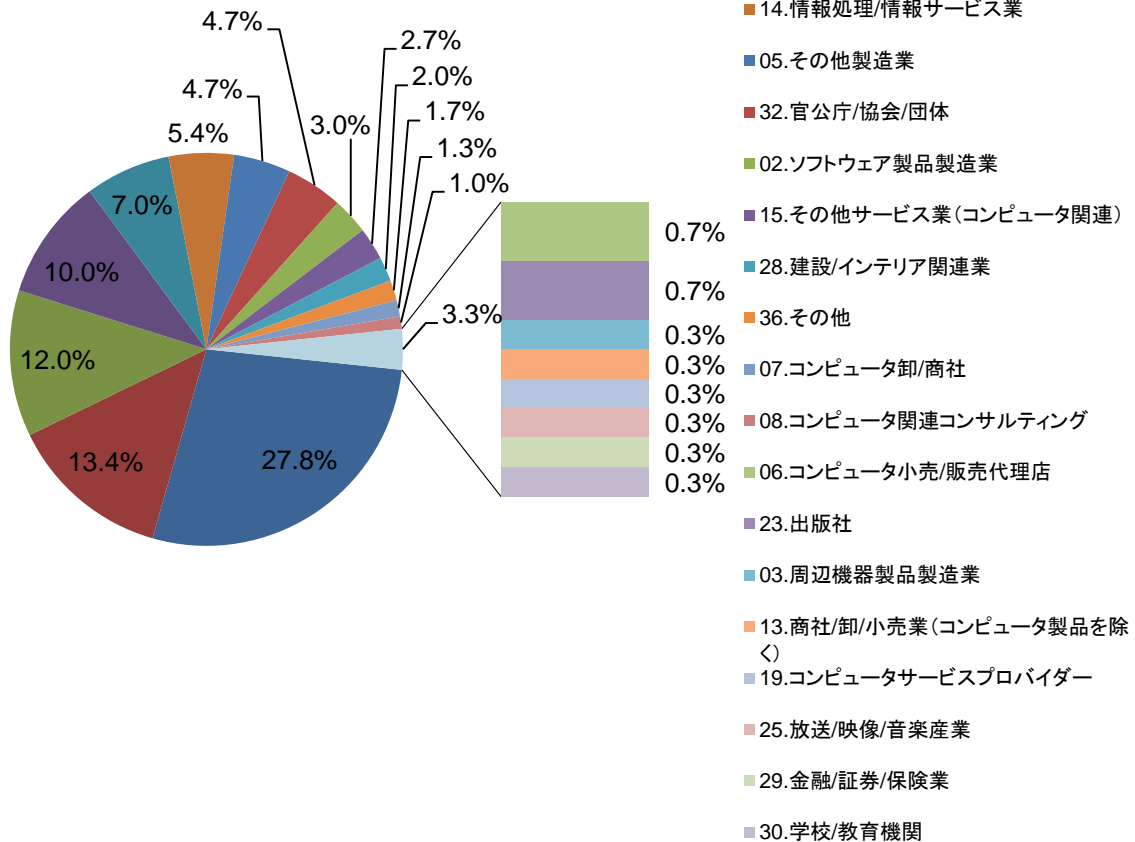
# 来場者属性

## 1. 業種別分類

2010年度(以下、前回)と比較すると、1位の通信事業は変わらず、インターネットサービスプロバイダが4%増加し、2位に。システムインテグレータが7%減。情報処理/情報サービス業とコンピュータ製品製造業が入れ替わりました。

【上位5位まで】

- 1位 通信事業 27.8%
- 2位 インターネットサービスプロバイダ 13.4%
- 3位 システムインテグレータ 12.0%
- 4位 通信製品製造業 10.0%
- 5位 コンピュータ製品製造業 7.0%



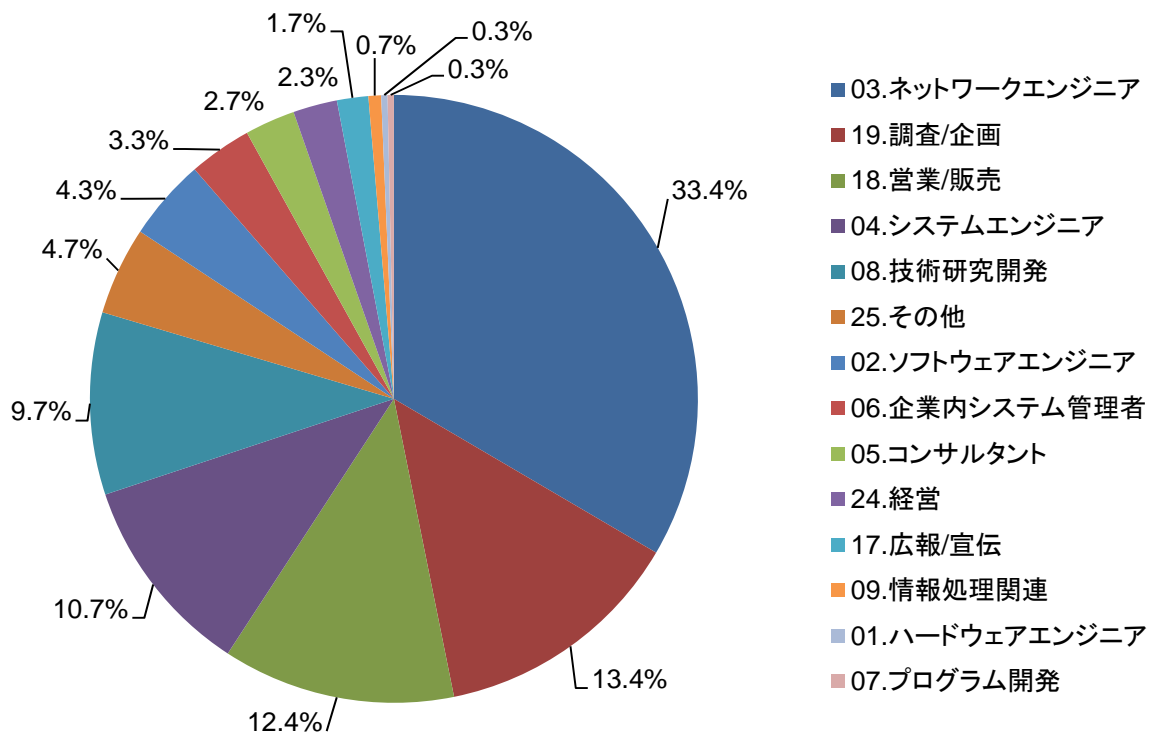
## 来場者属性

### 2. 職種別分類

前回と比較すると1位から5位までの職種は変わりませんが、割合が変化しています。営業/販売が4.5%増加し、5位から3位に上昇しました。

#### 【上位5位まで】

- 1位 ネットワークエンジニア 33.4%
- 2位 調査/企画 13.4%
- 5位 営業/販売 12.4%
- 4位 システムエンジニア 10.7%
- 3位 技術研究開発 9.7%



# 来場者属性

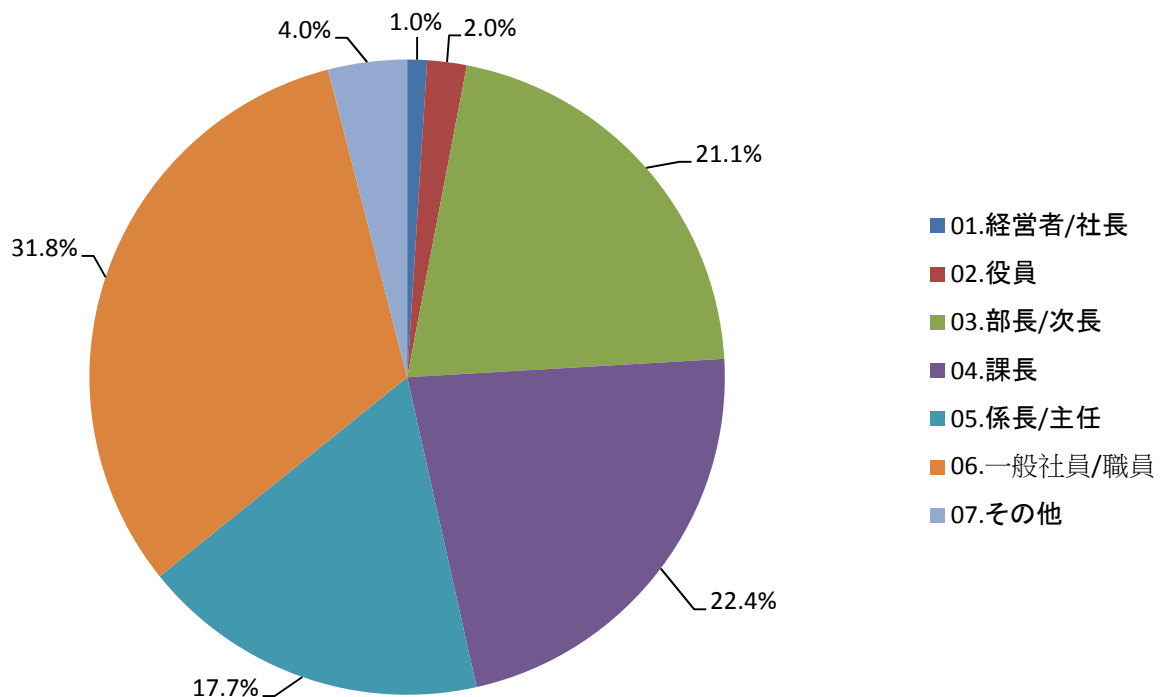
## 3. 役職別分類

IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

前回とほぼ同様の数値です。

- 1位 一般社員/職員 31.8%
- 2位 課長 22.4%
- 3位 部長/次長 21.1%
- 4位 係長/主任 17.7%
- 5位 役員 2.0%
- 6位 経営者/社長 1.0%



# 来場者属性

## 4. 会社規模(従業員数)別分類

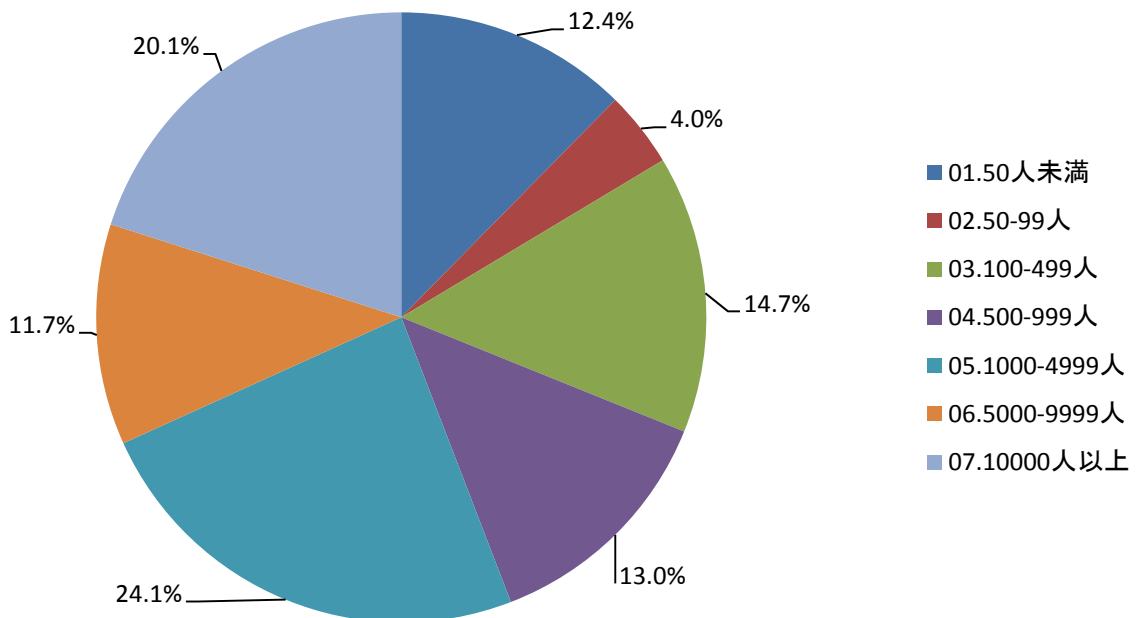
IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**X  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

前回とほぼ同様の数値です。

【上位5位まで】

- 1位 1,000~4,999人 24.1%
- 2位 10,000人以上 20.1%
- 4位 100~499人 14.7%
- 3位 50人未満 12.4%
- 5位 5,000~9,999人 11.7%

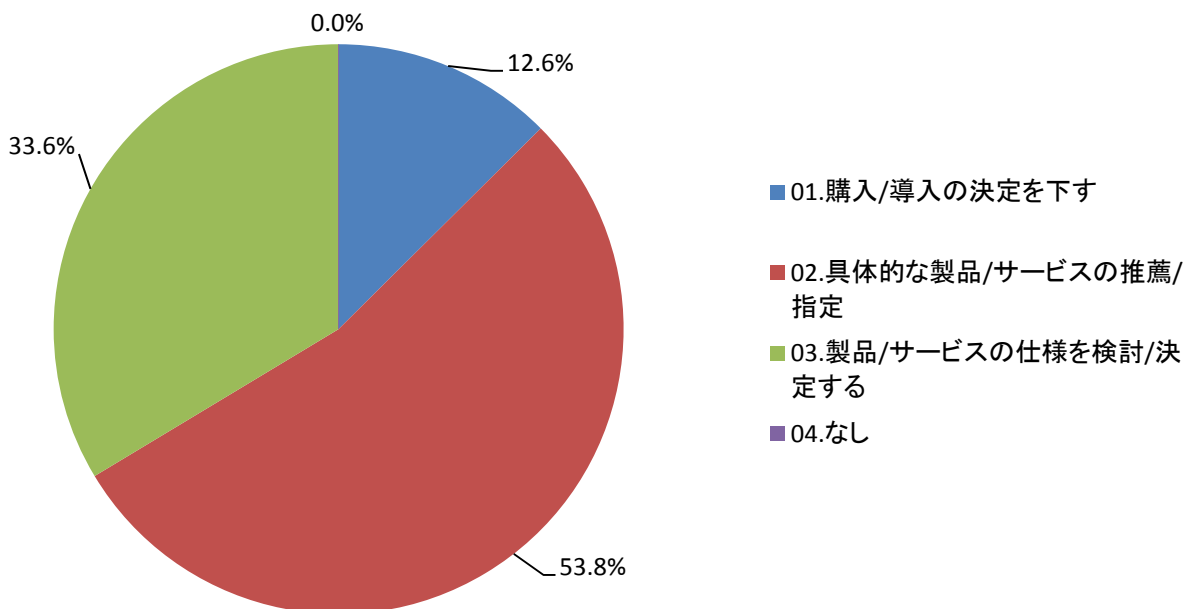


## 来場者属性

### 5. 製品関与度による分類

前回に比べ、検討から決定を下す立場までの方が増加しました。該当なしが0%と前回よりも減少し、具体的に導入を検討するための材料(判断)を求め来場する方が増えていることが推測されます。

01. 購入/導入の決定を下す立場	12.6% (0.6下降)
02. 具体的なサービスの推薦/指定	53.8% (1.6上昇)
03. 製品・サービスの仕様を検討/決定	33.6% (2.7下降)
04. 該当なし	0% (1.3下降)



# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

あなたは、IPv6にどのような期待やお考えをお持ちですか？以下の中から、あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

01.アドレス空間が拡大することで、様々なデバイスにアドレスがつけられる	26.9%
02.Plug and Playが可能になり、IPバージョン4よりも設定が容易になる	7.0%
03.IPバージョン4に比べて、セキュリティ機能が高い	7.1%
04.peer to peerの通信が可能になる	9.6%
05.マルチキャストが可能になる	6.8%
06.IPバージョン6をベースにした通信方式へと集約されることで、コストが削減できる	4.1%
07.IPv6に対応していることをユーザが魅力に感じる	4.4%
08.世の中がIPバージョン6を採用する流れなので、それに合わせる	10.4%
09.IPバージョン4や他の通信プロトコルと比較して、機能的に特別なメリットはない	7.7%
10.IPバージョン4や他の通信プロトコルから移行するにはコストがかかる	14.3%
11.その他	1.1%
12.特にない	0.6%
	100.0%

## その他の意見(抜粋)

- IPv4アドレスが無くなる
- IPアドレスが8個とかで16個とかの個数で価格が変わる時代の終焉
- 費用対効果のメリットが分からない
- Moblie
- 枯渇とマイグレーション
- 未知の世界
- 保守運用が視覚的に困難(10進数から16進数アドレスへ)

# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

貴社のIPv6対応の製品化の検討状況についてお伺いします。以下の中から、あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

01.既に商品化している	39.9%
02.商品化に向けた試作/実験段階である	19.2%
03.社内に担当者/組織を設置している(よろしければ商品化予定年次をご入力ください)	4.5%
04.情報収集の段階である	32.4%
05.全く検討していない	1.5%
06.かつて提供していたが、現在はやめている(理由)	0.0%
07.IPv6は自社の業務や製品サービスとは直接関係がない	2.4%
	100.0%

### 社内に担当者/組織を設置している(商品化予定年次)

- 2011年 2件
- 2011年3月 1件

# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011



## 【設問】

IPv6が今後、普及するために必要なこととは、どのようなことだと思いますか？以下の中から、あてはまるものを全てお選びください。（複数選択可）

01.ユーザ、消費者の認知の向上	17.5%
02.企業側の認知の向上	15.6%
03.機器、部品などの一層の標準化の進展	15.8%
04.情報網などインフラの整備	16.4%
05.税制優遇など政策的な措置	10.4%
06.魅力的な利用法、コンテンツの出現	18.2%
07.インターフェースの簡略化	4.9%
08.その他	1.2%
	100.0%

## その他の意見(抜粋)

- コストがかかる。ユーザメリットがないとダメ
- 世界規模で、割り当て済みIPv4アドレスの値上げ(か相対的にIPv6の価格が圧倒的に下がる)。若しくはv4枯渇で皆が困り果てる。
- 移行手順のフォーマット提供
- 各製品でv4同等機能の実装
- v4が枯渇し、コストが上がれば必然的にv6を利用するようになる
- ノウハウの蓄積・共有
- スムースなマイグレーション手法
- IPv4枯渇
- 技術者育成

# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

IPv6の索引分野として、個人的に期待が高い分野はどれですか。以下の中から、あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

01.VoIP/IP電話	9.8%
02.IPTV	9.5%
03.WiMAXワイヤレスブロードバンド	8.2%
04.防災ネットワーク	5.0%
05.ビルオートメーション等設備管理システム	6.4%
06.電子タグ	10.9%
07.個人健康管理情報ネットワーク	4.0%
08.P2P型ネットワークゲーム	6.7%
09.情報家電(白物)	12.1%
10.情報家電(デジタル)	18.8%
11.ITS	6.3%
12.その他	2.2%
	100.0%

### その他の意見(抜粋)

- IOT
- IPv4アドレス枯渇
- IPv6インターネット
- LTE
- LTE対応などモバイル端末
- SNS系
- スマートフォンへの固定アドレス付与
- 海外新興国
- 基本的には特にない。IPv6だから牽引することは余りないと思っております
- 機器連携
- 携帯電話
- 警備のNW
- わからない
- 特に無い 5件

# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

日本におけるIPv6の普及に影響を与える要因として、下記のどれが大きな影響を与えていると思いますか。影響が大きいと思われるものを最大3つまでご選択ください。

01.米国をはじめとする各国政府のIPv6導入による市場の変化	19.0%
02.中国・インド・東南アジア諸国等でのインターネットの普及	12.4%
03.IP上でのコンテンツ流通システムの整備によるコンテンツ流通の活発化	10.5%
04.IPTVの普及	2.7%
05.WiMAX、WiFi等を利用した公衆無線LANの普及	5.0%
06.パソコンなどの端末のIPv6化	9.9%
07.携帯端末のIP化	13.6%
08.IPv4アドレスの枯渇	24.2%
09.トラフィック増大等によるIPv4ネットワークの信頼性低下	2.8%
	100.0%

# 事前登録者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

あなたは、IPv6の普及の阻害になる要因として、どのようなものが考えられると思いますか。以下の中から、あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

01.IPv6の利用方法についての十分な情報が提供されていない	14.0%
02.IPv4との違いが明確に提供されていない	7.5%
03.導入コストが不明確なままである	14.3%
04.導入事例が少ない	13.4%
05.IPv6の技術について十分な情報が提供されていない	7.5%
06.仕様が難解であり一般の技術者では使いにくい	4.6%
07.技術が確立されておらず仕様の変更が多い	5.4%
08.実験的な技術が多く実用的には不安が残る	6.2%
09.ユーザがIPv6の導入を望んでいない	10.2%
10.IPv6自体が一般では知られていない	8.1%
11.IPv6を何に使えばよいかわからない	7.3%
12.その他	1.5%
	100.0%

## その他の意見(抜粋)

- IPv4からIPv6への移行手順(導入検討、影響度確認、移行計画、移行実施)サンプルがない。移行に必要な思考テンプレート(ケーススタディ等)があれば検討しやすい。
- IPv6に移行しても、IPv4へのコネクティビティを確保しなければならない
- nativeアクセス網の不在
- NATがなくなった事によりインターネット上からの攻撃を受ける可能性について、一般の利用者が理解できるレベルでの明確な回答がない。RFC4864の内容では、利用者は納得しない。
- NTT NGN マルチプレフィックス問題
- 複数NTTNGN
- コンテンツがない
- コンテンツ業者が感じるメリットが少ないこと
- ユーザ側に設備コストを負担してもらうことが困難
- 移行コストを誰も負担してくれない
- 導入コスト
- 現時点では必須ではない
- 国外での普及率
- 日本での少子高齢化

# プログラム一覧

IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## プログラム

講演資料はGlobal IP Business Exchange 2011 講演資料をご覧ください。

### イベントホール(2F)

13:00	ご挨拶   榎井 俊 総務省 総合通信審議局長
13:10	<b>K1 基調講演1</b> 「SonyのChallenge -企業内ネットワークのトランスフォーメーション-」   埜 文英 13:40 ソニー株式会社 ビジネストランスフォーメーション/ISセンター システム改革推進部 統括部長 / ソニーグローバルソリューションズ株式会社 代表取締役社長/CEO
13:40	休憩
13:50	<b>P1 パネルディスカッション1</b> 「クラウド時代のデータセンターの設計と運用」   モデレータ: 江崎 浩 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授/IPv6普及・高度化推進協議会 専務理事/日本データセンター協会 理事 14:50 パネリスト: 田中 邦裕 さくらインターネット株式会社 代表取締役社長 山下 克司 日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウドコンピューティング事業 チーフテクノロジー・オフィサー 技術理事
14:50	休憩
15:05	<b>K2 基調講演2</b> 「IPv6 Deployment in India - Policies and Plans」   R.M Agarwal 15:35 DSI(Networks and Technologies), Department of Telecommunications, Ministry of Communications & Information Technology, Government of India (同時通訳あり)
15:35	<b>K3 基調講演3</b> 「IPv6 Development in Google」   Erik Kline 16:20 IPv6 Software Engineer, Google Inc. (同時通訳あり)

16:35	<b>S1 特別講演1</b> 「IPv4枯渇への対策とIPv6導入に向けた取り組みについて」   宮川 希 17:05 NTTコミュニケーションズ株式会社 先端IPアーキテクチャセンター 担当部長
17:05	休憩
17:15	<b>P2 パネルディスカッション2</b> 「2011年 本格稼働を開始するIPv6サービス基盤 ～実/案40の具体的実態にせまる～」   モデレータ: 中村 希 慶應義塾大学 環境情報学部 教授/IPv6普及・高度化推進協議会 常務理事 17:15 パネリスト: 岩佐 功 18:45 東日本電信電話株式会社 ブロードバンドサービス部 担当部長 菊池 正郎 ソノネエントテインメント株式会社 取締役 辻中 健生 日本ネットワークインテグラー株式会社 取締役 経営企画部長 福富 達一 BBN株式会社 取締役技術本部長兼渉外本部長
18:45	<b>T1 最新トピックス</b> 「IPv6最新動向」   モデレータ: 中村 希 18:45 慶應義塾大学 環境情報学部 教授/IPv6普及・高度化推進協議会 常務理事 19:15 パネリスト: 中村 秀治 株式会社三菱総合研究所 システム研究本部 情報通信戦略グループリーダー 藤井 美和 Senior IPv6 Program Specialist, ANIC

(敬称略)

詳細につきましては、同封の「プログラム」をご覧ください。

# 参加者アンケート結果

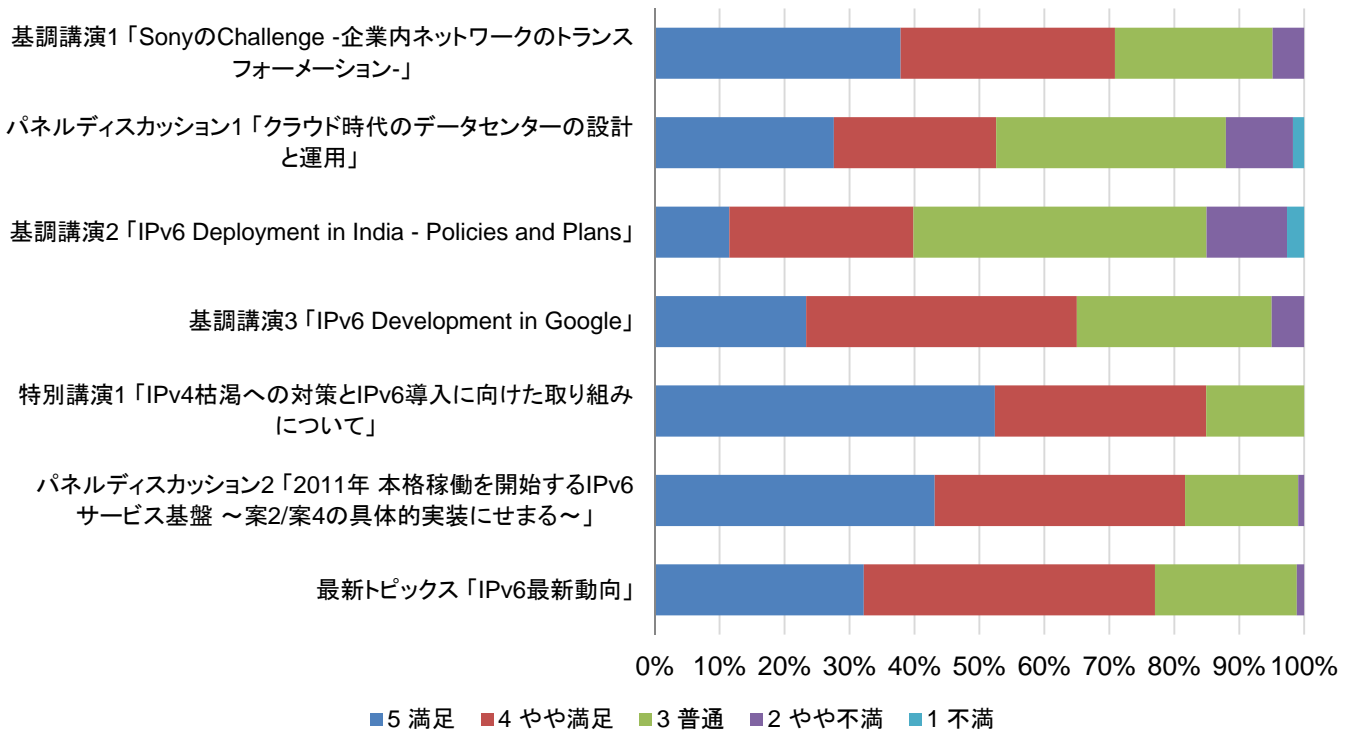
IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 1) プログラムの満足度

参加者の皆様に5段階評価で回答していただきました。

平均POINTは、3.94であり満足度は概ね得られているものと考えられます。



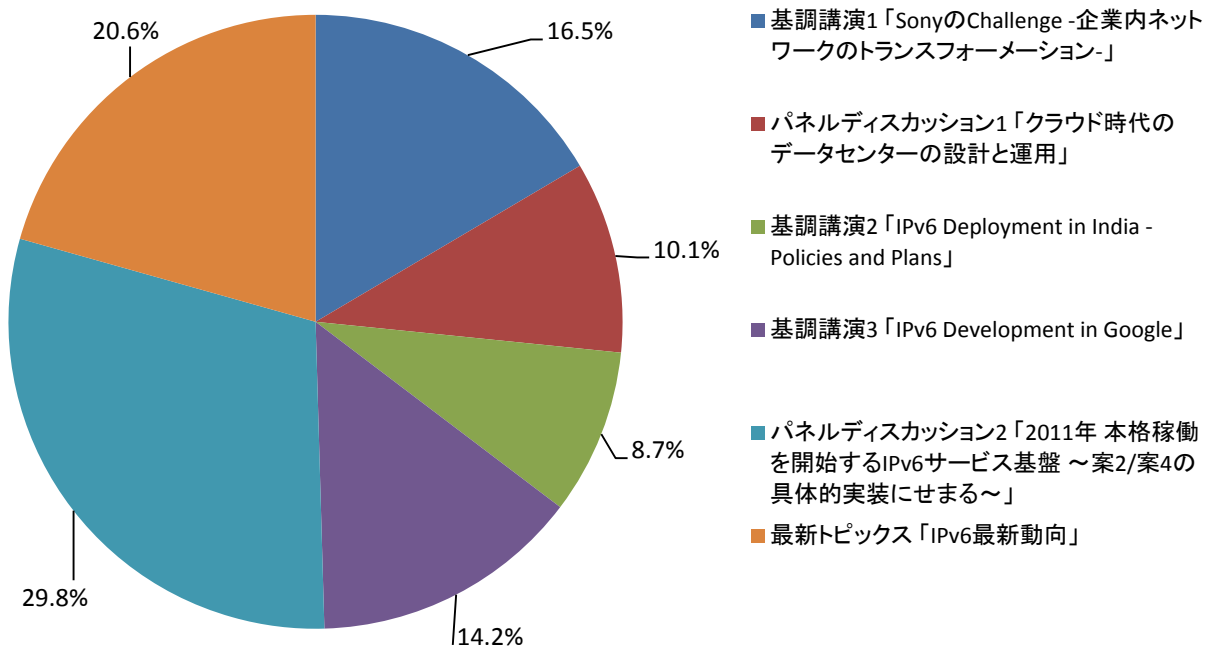
# 参加者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 2) 「IPv6がビジネスとして期待できる」という印象を強く感じたプログラム

プログラム全体を通して、期待できると感じていると回答が多かったですが、中でもパネルディスカッション2「2011年 本格稼働を開始するIPv6サービス基盤～案2/案4の具体的実装にせまる～」が全体の3割の回答でした。



# 参加者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

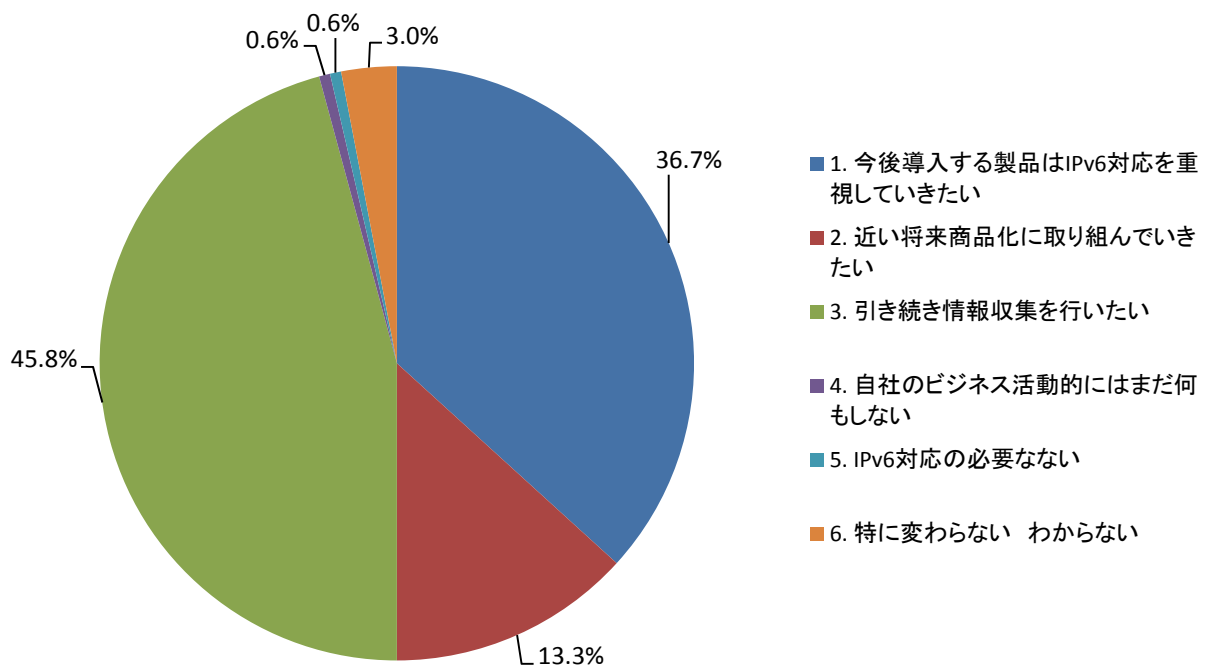
## 【設問】

本イベントを通じて、IPv6に関する行動はどう変わるか、一番近いものに○印をおつけください。

前回と比較すると、

1. 今後導入する製品はIPv6対応を重視していきたい。 **前回 32.0% ⇒ 今回 36.7%**
2. 近い将来商品化に取り組んでいきたい。 **前回 15.1% ⇒ 今回 13.3%**
3. 引き続き情報収集を行いたい。 **前回 48.8% ⇒ 今回 45.8%**

今回も前回同様、商品化(ビジネス化)に向けて動き始める意志が強い結果になりました。



# 参加者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

次回開催に向けて取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

- 「マルチキャスト技術による新ビジネス」
- IPv6インターネット提供後の世の中の変化について、引き続き取り上げてください。
- IPv6の導入が本格的に始まるので、現場での問題解決につながるようなセミナーを考えてほしい。
- IPv6の未来が明るい使い方とか。
- IPv6へのマイグレーションの具体化・標準化
- ISPごとのLSN対応状況。
- Mobile IPv6の動向。IKEv2の動向。
- SAM
- SAMのような新しいIPv6技術がこれからも登場してくるだろうと思われるので、今後も技術者向けの最新テクノロジーの紹介をお願いしたい。
- VPNとIPv6の関連
- 企業NWへの対応
- クラウドコンピューティングのユーザー事例(検討・導入の課題など)
- 実際に枯渇が発生したので、その後の動向と経過を取り上げていただきたい。
- 事例が聞いてみたいも、現状は難しいため企業の取り組みを扱ってほしい。
- 引き続き導入例の紹介等
- 普及状況や新たに発生したIPv6の問題など事例など発表してくれると良い。
- モバイル
- 来年はコンテンツとモバイル機のIPv6もしくはカプセリング対応をテーマに扱っていただきたい。

# 参加者アンケート結果

IP Global Business Opportunity

**IP-Biz**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011

## 【設問】

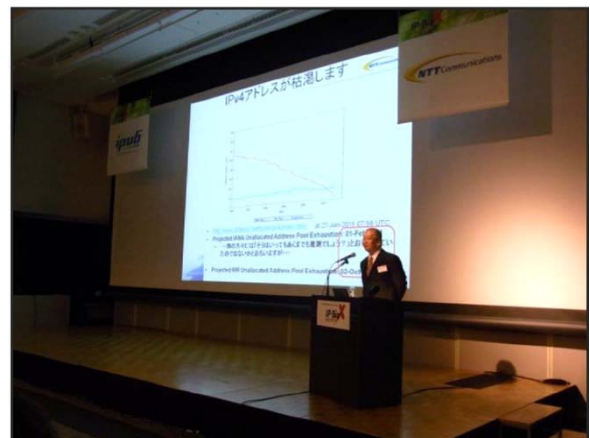
今回のプログラム内容について、ご意見、ご感想などがありましたらお聞かせください。

- Globalの名の通り、Indiaの事例などがあり非常に良かった。さらに増やしても良いのでは。逆に日本のNGNの話はLocalネタであり、「この会で」話す理由が不明
- IPv4アドレス枯渇公開スケジュールとタイミングが合い、実に効果的と思った。
- IPv4アドレス枯渇を迎え、今後、各ステークホルダーの方々が右にならえでIPv6活用を進めていくことはわかったが、やはり、その右にいる人(又は、一番右の人)が誰なのかが、はっきりしないところもどかしいですね。
- IPv6インターネット接続について具体像が始めて見えてきました。貴重な情報をいただけるプログラムアレンジに感謝します。
- IPv6に関する生の動向を知ることができ、参考になりました。
- IPv6への取り組みの事例や、案2・案4についての具体的な話が聞けて良かった。
- NGNのv6対応の部分でもっと白熱した議論が聞きたかった。ただ国内大手ISPの内輪もめの感が否めなかった。
- アジア各国のIPv6化をもっと取りあげて欲しい。
- 運用、設計についてのKnow-Howを共有する場を作れませんか？タスクフォースのページにFAQを作るでも良いと思います。
- 枯渇のタイミングとこのイベントがほぼ同時期に行われているのは、何か仕組まれているのかと思ってしまう。ただ、やっと本格的にIPv6が動き出すのは、IPv6スタック開発していた身としてとても嬉しいことです。
- ユーザー企業の考えが理解できた点は良かった。
- 期待以上の充実した内容でした。
- 様々な立場の方のお話をきけて楽しかったです。
- 参考になりました。長すぎです。
- パネルディスカッション1について、事前準備があまりできていないというのを全面に押し出しているが、タスクフォースの取り組みの温度が低いのかと感じてしまう。枯渇に対してタスクフォース側の温度感の高さを感じませんでした。
- パネルディスカッション2は、単独個別発表の四連続という印象でした。あまり議論という感じがしなかったのは、時間配分の問題かと思います。パネルディスカッション1の方は、楽しく聞けました。スライドの資料が手元に配布されなかったのが、質問づらい面がありました。
- レベルが高く来たかいがあった。
- 多少の資料を配布して欲しかった。
- 発表資料の事前or同時提供をお願いします。
- プレゼン資料の事前公開があったら良かったと思います。

# 開催内容詳細 会場風景

IP Global Business Opportunity

**IP-BizX**  
GLOBAL IP BUSINESS  
EXCHANGE 2011



# 開催内容詳細 会場風景

IP Global Business Opportunity

